

令和3年度 第1回 大阪府立みどり清朋高等学校 学校運営協議会 記録

日時：令和3年6月17日（木）〈書面開催〉

記録：湯浅

※第1回学校運営協議会はコロナウイルス関連による本校の現状を鑑みて、本校での会議を行わず、各委員への資料送付させていただき、その後書面で返信をいただくことで意見を聞かせていただきました。

1. 委員名簿

- ・岡田 憲玄 委員 （関西福祉科学大学入試広報部参事）
- ・勝山 正樹 委員 （近畿大学入試センターアドミッションオフィサー）
- ・山口 勝也 委員 （東大阪市立義務教育学校池島学園校長）
- ・高田 茂夫 委員 （新池島町自治会長）
- ・仲津 幹子 委員 （めだかこども園園長）
- ・大内 政美 委員 （PTA副会長）

2. 各委員からの意見(順不同)

◎A委員

(1)令和3年度「学校経営計画及び学校評価」について

- ・「わかりやすい授業」や「ICT機器の活用」については一定の目標を達成していると思います。今後はより高度な目標である「自ら考える授業」「意見を発表する授業」に向けて努力してください。
- ・家庭学習の確保のために、教育産業の支援プログラムの一層の活用をお願いしたい。
- ・近年の進学実績向上や遅刻者数減少などの成果に比べて、部活動加入率はあまり伸びていないように感じます。学校生活充実のために部活動がたいへん重要であることを、生徒に繰り返し訴えてください。
- ・中学校への広報活動では、在校生に出身中学を訪問させる企画はどうでしょうか。生徒の生き生きした姿は大きなアピールになると思います。

(2)令和3年度「重点目標及び達成目標・具体方策」について

- ・3学年の重点事項と達成目標を見ると学校での共通基盤があると思われ、心強く感じます。各学年の特色を生かしつつ、他学年の成功例や独自の取組みを臨機応変に取り入れる柔軟性を持ってください。
- ・学校教育計画に記載がありますが、専門コースの規模（人数等）の目標について教務企画部等が中心となって校内論議をしてください。特に「人文探究コース」の人数増大に向けての方策を考えてください。

(3)その他

- ・コロナ禍で昨年から今年度も予定変更の連続でご苦労されていると思います。しかし、昨年の学校教育自己診断では、生徒保護者の学校に対する満足度は上がっているようです。この満足度と期待度が高まっている機会を逃さず、意欲的な取組みを期待しています。

◎B委員

(1) 令和3年度「学校経営計画及び学校評価」について

1. 確かな学力の育成

- ・専門コース制の充実

進学指導に向けてその決意がよくわかる、具体的な目標に数字も明記され、より分かりやすい。校長先生の意図が先生方によく伝わると思います。

2. コミュニケーション力の育成

- ・生徒指導の充実

「SNSのモラル向上」が昨年からも引き続き掲載されています。誹謗中傷による被害がマスメディアで取り上げられ、裁判事象になるケースも増えてきました。法律が「ネット環境の進歩」に追いつけていない現実があります。しかしながら、学校で管理できるようなシステムではないので指導といわれても先生方が困惑される一方、世間の目は学校へ向けられることが多い現実もあります。

私も管理職時代、警察からのネットの書き込みで情報が入り、何とか指導で治めることができた経験があります。教員研修のテーマになると思います。

3. 開かれた学校づくりの育成

みどり清朋高校の地域の方々は学校運営に協力的な印象が強い。以前はNPO（カワセミに関する）の方々とも交流があったと聞いています。

逆に学校の方は受け身にならず、地域と学校をつなぐ役割というのは学校の分掌に位置づけられていない業務であるので先生方も違和感があるかもしれません。生徒指導のSSWと通じるものがあると思います。（これも教員研修のテーマになると思います。）

(2) 令和2年度「重点目標及び達成目標・具体方策」について

全学年とも基礎学力の向上が達成目標になっており、非常に良い目標と感じています。昨年度から始まった共通テストでは本質的な教科・科目の出題意図を短時間で理解できない生徒は解答できないこととなります。以前のセンター試験においても、そのような問題が散見されていました。そのような形式の出題の是非は別として、文書を書いたり、読んだりできる能力はどの社会でも当然求められています。

改めて、基礎学力の向上は今後本当に大事になると思います。まさに「読み・書き・そろばん」であると思います。近畿大学の入試問題についても基礎学力を確認する内容が多いです。そのために合格最低点の70店前後の学部学科が多くなっています。合格最低点にしては高めの数字です。1・2年の基礎学力の充実が3年の受験の基礎学力に通じていることになると思います。

◎C委員

(1) 令和3年度学校経営計画及び学校評価

- ・「2中期的目標」について

確かな学力の育成、コミュニケーション力の育成、課題解決力の育成、地域貢献力の育成、学校経営・運営体制の強化の全ての項目内における「評価指標」の「R2年度値」のほとんどが上昇していることから、昨年度のコロナ禍にありながら、これまでの取組みを停滞させることなく、継続的・積極的にすすめてこられたのではないかととらえています。

どのような取組みをされてこられたのか、コロナ禍の中での取組みの効果的な進め方など、具体的に知りたいと思いました。

(2)⑤【生徒指導部】令和3年度 重点目標及び達成目標・具体方策について

《各学年・各分掌の重点目標》

「生涯にわたり、生徒の良き思い出として刻まれるような達成感・充実感が得られる行事づくりを目指す。」

- 全体の中で、キャリアパスポートに関しての取組みの記述がなかったと思います。
- 池島学園においても、昨年度から始まったキャリアパスポートの活用については、コロナ禍の中、なかなか積極的に取り組めず、今年度へ繰り越した課題となっています。
- 今年度は、各学年中心の取組みをはじめとし、各取組みの「目的」を明確にするためにも、あらためて現状の児童生徒の成長段階や、その上での「つけたい力」を見直していくことにとりかかり、児童生徒が客観的に自己の課題や成長に気づき、メタ認知能力の向上につなげたいと考えています。
- 「令和3年度 学校経営計画及び学校評価」内の「評価指標・R2年度値」で唯一伸びていなかった「学校行事満足度」に対する具体的方策として、例えば、生徒指導部の行事づくりに関して、キャリアパスポートにふれることもあっても良いのではないかと感じました。

◎D委員

・確かな学力の育成について

平成30年度の学校経営計画および学校評価では「難関私立大学合格への目標」という文言は書かれていませんでしたが、平成31年度の学校経営計画では、「現役合格者数20人を目標とする」という明確な目標が掲げられました。

また、令和3年度学校経営計画では、「関西8私大および国公立大学の現役合格者数50人以上」、「関西12私大等および国公立大学の現役合格者数130人とする」、というさらにハイレベルの目標値を掲げられていました。

そして、実際、関西8私大及び国公立大学でみれば（令和元年13人、令和2年224人）と進学校ともいえるほどの成果を上げられるとともに、両専門コースにおいても確実な目標を掲げ、結果を残されたことに正直驚いております。

・コミュニケーションの育成

「生徒指導の充実」で書かれている年間遅刻者数ですが、数年前の目標はアンダー3000でした。基本的な生活習慣を向上させること、時間を守るということは、将来、社会生活を営んでいくにも非常に重要なことですので、学校生活の段階で遅刻をしないということを身につけることは重要なことです。生徒指導の先生方による、登校時の校門での指導からメロディーチャイムの導入などの工夫を重ねられた成果が実り、令和2年度の結果は1031までの驚異的な改善が見られます。

この結果から令和3年度目標は1100以下とまで低減されていますが、これらの取組み、生活習慣の改善が、上記の大学等への進学数にもつながっているのではないかと思います。

・部活動の充実・地位貢献力の育成

この1年余り、コロナ禍により、多くの部活動も何らかの制約を受けざるを得なくなり、十分な活動を行うことができなかったと思います。また生徒間のコミュニケーションを図ることもままならなかったと察しております。

地域を代表して本協議会に参加させていただいている者としても、公民文館主催の音楽祭も開催できなかったことを残念に思っています。

新型コロナは、急速に終焉に向かうことはないと思われしますので、コロナだからできないではなく、コロナと共存しながら、どのようにすれば音楽祭も安全に実施することができるかを前向きに検討し

ていきたいと考えております。実施の場合は、当校の放送部、清朋太鼓、ブラスバンド部等の協力をぜひお願いいたします。

◎E委員

保育コースの生徒さんは、子ども達との交流から学ばれる事も多々あると思いますが、保育をしている中での体験話やうれしいこと、楽しいこと、反対にしんどいこと等、現場の保育士の声を直接聞くということも、これからめざす保育士の仕事に役立つのではないのでしょうか？

◎F委員

- (1)PTA活動を通し、図書室に本を寄付していることを初めて知りました。図書の活用をもっと発信しても良いのではないかと思います。生徒の「まとめて発表する」機会に、校内・校外を問わずビブリオバトルに参加するなど生徒の自主的な活動への一環にしてみても良いのではないかと思います。
- (2)3学年の重点事項(1)の④人権に関する点で、文章では活動の内容や達成目標の不明瞭さがあり、具体的な内容が分かりにくいと感じました。ホームページや書面等で活動内容や活動の結果等を可能な範囲で保護者周知があれば良いのではないかと思います。
- (3)教育に関して素人なので、前年度の会議内容についての資料や他の方々のご意見を見聞できる機会があれば嬉しいです。コロナ禍で、集まって会議することの難しさも承知しておりますが、密にならず感染対策を徹底したうえで、そういったお話ができる場が設けられたら嬉しく思います。

8. 次回の日程

第2回 令和3年 10月4日(月) 11:00~12:30

第3回 令和4年 2月14日(月) 11:00~12:30

以上